

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道365号員弁バイパス <small>いなべ しかのん</small>	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：三重県 延長 ：12.0 km
起終点 ：自：三重県いなべ市大安町片樋 至：三重県四日市市小牧町		
事業概要 ：一般国道365号は、石川県加賀市を起点とし、福井県、滋賀県、岐阜県を経て、三重県四日市市に至る延長157kmの幹線道路です。員弁バイパスは、いなべ市と四日市市を結ぶ産業・生活道路であると共に、東海環状自動車道へのアクセス道路として広域ネットワークの構築を支援しています。		
S59年度事業化	S58年度都市計画決定 (H 年度変更)	S59年度用地着手
S60年度工事着手		
全体事業費 ：181億円	事業進捗率 ：97%	供用済延長 ：9.4 km
計画交通量 ：11,200台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 7.6 (残事業) 111.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 6/ 244億円 (事業費)：5/ 235億円 (維持管理費)：1/ 10億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 707/1,866 億円 (走行時間短縮便益)：617/1714億円 (走行費用減少便益)：80/ 135億円 (交通事故減少便益)：9/ 18億円
基準年 ：平成17年		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築・・・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連結する ・他のプロジェクトとの関係・・・東海環状自動車道へのアクセス向上 他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 東海環状期成同盟会をはじめ、近隣関係市町より早期完成を強く要望されています。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年12月に、員弁郡旧4町が合併し、いなべ市が発足しました。当バイパスは旧各町を結ぶ幹線道路です。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに97%の進捗が図られており、これまでに9.4 kmを供用しています。平成19年度の全線供用に向けて事業進捗を推進しています。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業延長が12 kmと長く、事業費も181億円と多大であったため、事業進捗が図れずにいましたが、平成19年度に全線供用の予定です。		
施設の構造や工法の変更等 他工事での発生残土を盛土材として利用しており、コスト縮減を図っています。		
対応方針 対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		